

ICT実践事例・修正指導案

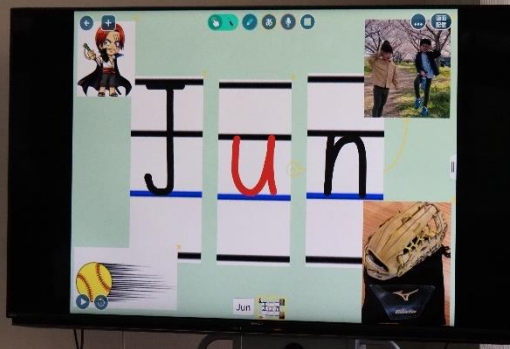


Lesson1 単元名 ENT を作って、先生や友達ともっと仲良くなろう 2 / 6 時間

本時のねらい 外国語の授業の時に呼んでもらいたいニックネームについて、教師と児童のやりとりを何度も聞いたり、繰り返し発話したりすることを通して、聞き取りやすい声の速さではっきりと簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。**ることができる。**

準備 ENT (教師モデル) デジタル教材 タブレット端末 掲示用キーセンテンス 振り返りシート

(評価規準) 外国語の授業の時に呼んでもらいたいニックネームの綴りについて、聞き取りやすい声の速さではっきりと簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。

具体的な児童の姿 ~~正しい綴りかどうかを「A?」「B?」などと、繰り返して確かめながら聞いている。~~
 ・相手にきちんと伝わるようにアルファベットをはっきりと伝えている。
 ・相手が綴りを聞き取れているかどうかを確かめながら、相手の操作に合わせてニックネームの綴りを伝えている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English practice 【Let's Sing】♪ABC Song1</p>	<p>・児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。</p>	デジタル教材
5分	<p>○本時のめあてについて知る。 呼んでもらいたいニックネームを伝え合おう</p> <p>Activities ○Small Talk : ニックネームについて</p> <p>H: Hello. My name is Junji Hirose. Please call me Jun. A: How do you spell your name? H: J-U-N, Jun. A: (アルファベットを選んで)OK? H: Yes. Please call me Jun. How about you? A: My name is Edward Kellerman. Please call me Ed. H: How do you spell your name? A: E-D, Ed. H: (アルファベットを選んで)OK? A: Yes. Please call me Ed. H: OK. Ed.</p>	<p>・前時までの学習内容や単元のゴールを振り返り、めあてを提示する。</p>  <p>・キーセンテンスをゆっくり強調しながら聞かせるようにする。 ※タブレット端末でどのように操作しながらやり取りするのかをテレビに写し、話の内容を聞き取ることができるようにする。</p> 	タブレット端末
8分	<p>○Let's Listen1 : HRT と数名の児童とのやり取りを通して、ニックネームの綴りの聞き方や答え方を何度も聞いたり話したりする。</p>	 <p>・HRT は、タブレット端末 (ロイロノ</p>	タブレット端末



ート)を持って教室を動き、数名の児童に“How do you spell your name”と尋ねたり，“Please call me ○○”と伝えたりするやり取りを繰り返し聞くようにする。

- ・「How」や、どこを強調しているか等に注目させるような声かけをする。
- ・数回やり取りをした後、全員で“How do you spell your name”と尋ねるようにする。
- ・最後に ALT が児童全員に“How do you spell your name”と尋ね，“Please call me ○○”を用いて、自分のニックネームを伝えるようにする。

20分

○Let's Talk

: ペアトークでニックネームの綴りを伝え合う。

: 友達とニックネームの綴りを伝え合う。

【児童の具体の姿】

A: Hello. My name is ○○. Please call me ◎◎.

B: How do you spell your name?

A: ◎-◎, ◎◎.

B: (アルファベットを選んで)OK?

A: Yes. Please call me ◎◎. How about you?

B: My name is ◇◇. Please call me □□.

A: How do you spell your name?

B: □-□, □□.

A: (アルファベットを選んで)OK?

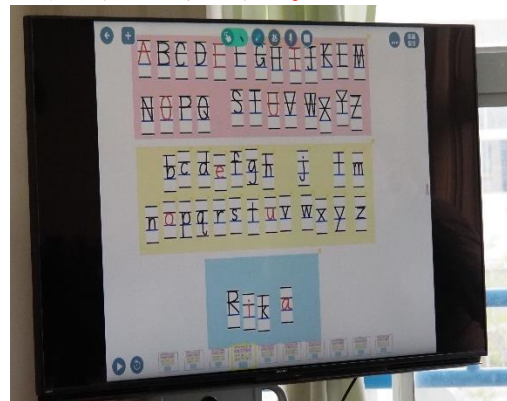
B: Yes. Please call me □□.

A: OK. □□. Thank you. See you.

B: See you.



- ・クラスの友達がどのようなニックネームを考えているかと思わせたり投げかけ、交流に意欲的に取り組めるようにする。
- ・聞き取る必然性をもつために、互いにタブレット画面が見えないようにやり取りするようにする。



- ・中間指導で，“How do you spell your name”と尋ねたり，綴りを聞き取ったりすることに困った時は，どうすれば解決できそうか考えさせる。必要に応じて ALT と練習したり，“Slowly please.” “One more time, please.”等の言い方を確認したりする。



※ “How do you spell your name”を用いて尋ねることが困難な児童は，キーセンテンスを持っている ALT に言い方を聞きに行ったり，個別に言い方を確認したりする等で支援する。

※綴りが間違っていたらその場で教え合うようにする。

(例)「Shi」「Chi」「Tsu」等

◎外国語の授業の時に呼んでもらいたいニックネームについて，聞き取りやすい声の速さではっきりと簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことが

タブレット端末

		<p>できる。 <行動観察・振り返りシート記述点検></p> 	
7分	<p>Comments ○Reflection : 本時の自分の学習をそれぞれ振り返り、項目ごとに自己評価する。 ○HRTとALTのコメントを聞く。 Greetings ○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Talk での気づきについて尋ね、初めて知ったことや困ったときにどのような工夫をしたか等について振り返りができるようにする。 ・ 相手に配慮しながら、ゆっくり綴りを伝えたり、“Slowly please.”等と聞き返したりしていた児童を紹介し称賛する。 ・ 振り返りを取り上げ、次時につなげることができるようにする。 	振り返りシート

B3 思考を深める場面

一人一台端末の使用は効果的であったか

- 複数のカードを持ち歩く必要が無いので、すぐにアルファベットを選んでスピーディに活動ができる。
- 次々とカードを提示でき、多くの相手と交流ができる。
- カードが一人一台端末内に保存されるので、交流を記録に残し、後で確認することができる。
- 印刷がすぐにできる＝書かなくて良い。
- アルファベットを見て、読み方を発話することと、発話を聞いてアルファベットを選ぶこと（既習）が、同時にたくさん学ぶことができる。
- ▲一人一台端末を使うことを先に考えるのではなく、つけたい資質・能力や児童の目的に合わせて活用方法を考えることが大切。

